

問 51 品川区の施設や事業についておたずねします。(1)以下の施設・事業を知っていますか。(2)あなた自身やあなたのお子さんが利用したことはありますか。(3)これから利用してみたいものがありますか。それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

品川区の施設・事業	1 知っている	2 あなた、または 子どもが利用 した(している)	3 今後利用して みたい
a. 妊娠中の無料健康審査	1	2	3
b. 保健所などで行う母親学級	1	2	3
c. 区立保育園	1	2	3
d. 区立幼稚園	1	2	3
e. 保育ママ(家庭福祉員)、緊急一時保育	1	2	3
f. 保育園の一時保育、休日保育、病後児保育	1	2	3
g. 子育て相談センターの子育て相談	1	2	3
h. 児童センター	1	2	3
i. 学童保育クラブ	1	2	3
j. 幼保一元化施設 二葉すこやか園	1	2	3
k. 小・中学校の通学区域弾力化(学校選択制)	1	2	3
l. すまいるスクール(放課後の校舎を活用した勉強・遊び場の提供)	1	2	3
m. 教育センターの教育相談	1	2	3
n. 町会の青少年対策地区委員会実施の事業(親子ハイキング、ラジオ体操など)	1	2	3
o. 生涯学習課主催の教室・催し(自然体験教室、歴史講座、親子クイズラリー等)	1	2	3
p. 家庭教育支援事業(家庭教育学級、家庭教育支援ネットワーク講習など)	1	2	3
q. 図書館主催のお話し会、映画会、子ども会	1	2	3
r. その他 ()	1	2	3

◆この調査の内容に関連してご意見・ご要望がありましたら、何でもご記入ください。

調査票の記入は以上で終わりです。長時間にわたりご協力ありがとうございました。
誠に勝手ながら、ご返送は平成14年12月20日までをお願い申し上げます。

少子化に関する区民調査

独身者用

平成14年12月
(調査実施) 品川区企画部
(調査研究) 少子化研究会
(研究助成) 厚生労働省

※少子化研究会は国立社会保障・人口問題研究所を中心とした厚生労働省の研究プロジェクトです。

*** 調査ご協力をお願い ***

少子化の進行は、社会経済全般にわたって大きな影響を及ぼすと予測されており、品川区においても、少子化の動向をふまえた区政運営が、これまで以上に重要になってきております。

今回の調査は、区民の皆様が、仕事、家族、結婚、出産・子育てといったことに対して、どのような意識をお持ちになっているかをおうかがいするために実施するものです。区民の皆様の率直なお考えをお聞かせいただき、それらのご意見を少子化に関する政策立案の基礎資料にさせていただきます。

調査をお願いする皆様は、区内在住の20歳～49歳の方の中から、3000名の方を無作為に選ばせていただきました。

なお、プライベートなおことをおうかがいする場合もございますが、この調査は無記名で行なわれ、また、回答はすべて統計的に処理されるため、個人が特定されることはありません。また、この調査票に記入した事項は、統計以外の目的に使用したり、他人にもらしたりすることは絶対にありません。本調査の主旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成14年12月 品川区企画部

<アンケート調査のご記入にあたって>

- ① ボールペンまたは鉛筆で記入してください。
- ② 質問番号順にお答えください。矢印(→)では指示にしたがって進んでください。

誠に勝手ながら、平成14年12月20日(金)までに、返信用封筒に切手を貼らずにご投かんくださいますようお願い申し上げます。(封筒にお名前を書く必要もございません。)

問合せ先：品川区企画部企画財政課企画担当
電話：03(5742)6607 (直通)

問1 あなたの出生年月と性別を記入してください。

出生年月	性別
昭和 ____年 ____月	1. 男性 2. 女性

問2 あなたの学校卒業後(中退後)最初についた仕事と現在の仕事についておたずねします。各時期における(1)従業上の地位、(2)職業、(3)従業員数について、選択肢からあてはまるものを選び、太枠内の番号に1つつつ○をつけてください。

対象時期↓	(1) 従業上の地位	(2) 職業	(3) 従業員数 (本社・支社・工場のすべてを含む)
		1. 企業・団体の役員 2. 民間の正社員 3. 官公庁の正職員 4. パート・アルバイト・派遣 5. 自営業主・家族従業者 6. その他 7. 無職(学生を含む)・家事	1. 専門的・技術的職業 2. 事務・販売・サービス・保安職業 3. 農林漁業作業 4. 現場労働(運輸・製造・建設・その他) 5. その他
a. 卒業(中退)後の初職	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
b. 現在	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

問3 あなたが学校卒業後(中退後)に初めて仕事についたのはいつですか。これまでに仕事についたことのない方は記入しないで結構です。

[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] ____年 ____月
--

問4 あなたの(1)一日の平均労働時間、(2)一週間の平均労働日数、(3)平均的な通勤時間、(4)平均的な帰宅時間についておたずねします。下の各欄について、それぞれ、あてはまる数字を記入してください。仕事をお持ちでない方は記入しないで結構です。

(1) 一日の平均労働時間	(2) 一週間の平均労働日数	(3) 平均的な通勤時間	(4) 平均的な帰宅時間	
____時間	____日	____時間 ____分	午前 午後	____時頃

問 5 あなたのご両親の出生年月についておたずねします。(1) 出生年月を記入し、(2) 現在の生死の別についても、あてはまる番号に○をつけてください。

対象者	(1)出生年月	(2)現在の生死の別
父親	[1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 西暦] _____年_____月	1. 健在 2. すでに死亡
母親	[1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 西暦] _____年_____月	1. 健在 2. すでに死亡

問 6 あなたが 15 歳の頃、あなたの家庭の暮らしぶりは、当時の平均的な家庭と比べて、どうでしたか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 ← 低い 高い →
--

問 7 現在のあなたの暮らしぶりは、世間一般と比べて、どのくらいだと思いますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 ← 低い 高い →
--

問 8 現在のあなたの暮らしぶりは、あなたが 15 歳の頃と比べて、どのくらいだと思いますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 ← 低い 高い →
--

問 9 あなたが 15 歳の頃のあなたの父親は、仕事と家庭のどちらを優先していましたか。また、事実とは別に、あなたは仕事と家庭のバランスという点でどのような父親像が望ましいと思いますか。それぞれ、あなたの考えに近い数字に○をつけてください。なお、15 歳の頃に父親が不在だった方は、(1)は無記入でけっこうです。

(1) あなたが 15 歳のときのあなたの父親

1 2 3 4 5 6 7 8 9 ← 家庭優先 仕事優先 →
--

(2) あなたの望む父親像

1 2 3 4 5 6 7 8 9 ← 家庭優先 仕事優先 →
--

問10 あなたには現在、(1) 交際している異性がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。
また、交際相手がいる方は、(2) その人(二人以上いる場合はもっとも親しい人)との結婚の希望についてお答えください。

(1) 交際している異性の有無	(2) 交際相手との結婚の希望
1. 交際している異性はいない 2. 友人として交際している異性がいる 3. 恋人として交際している異性がいる 4. 婚約者がいる	1. 結婚したいと思っている 2. 特に結婚は考えていない

} →

→ 問12へ

問11 問10の(1)で1~3のどれかを選んだ方におたずねします。あなたは、結婚を意識してパートナーを探していますか。

1. はい 2. いいえ

問12 現在のあなたの結婚に対する意欲の強さについて、あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
← 弱い								強い →								

問13 あなたは、将来自分が子どもを持つことについてどう考えていますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。すでに子どもがいる場合は、10に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
← 子どもは持たなくてもよい										子どもは必ず持ちたい →						が子 す い ど で る も に	

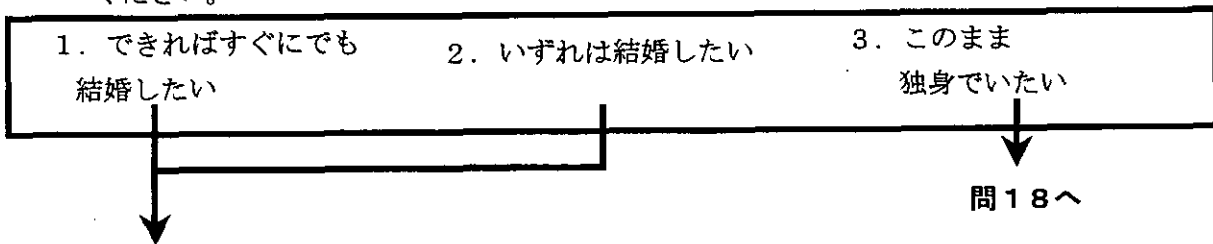
問14 あなたは「結婚適齢期」というものがあると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。あると思う方は、男性・女性それぞれの結婚適齢期について、数字を記入してください。

男性の結婚適齢期	1. 特にないと思う	2. あると思う →			歳くらい
女性の結婚適齢期	1. 特にないと思う	2. あると思う →			歳くらい

問 15 次の a～l の生き方や考え方について、あなたはどのように思いますか。それぞれについて、太枠内のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

生き方や考え方について	1	2	3	4
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
a. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
b. 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念すべきだ	1	2	3	4
c. 年をとった親は子どもが面倒をみるべきだ	1	2	3	4
d. 男女が一緒に暮らすなら結婚すべきだ	1	2	3	4
e. 子どもは法的に結婚した夫婦の間で生まれるべきだ	1	2	3	4
f. 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4
g. 女性が自立するには仕事を持つことが必要である	1	2	3	4
h. 男性も身の回りのことや家事をするべきだ	1	2	3	4
i. 一生独身でいるより、結婚したほうが良い	1	2	3	4
j. 夫に十分な収入がある場合、妻は仕事を持たない方がよい	1	2	3	4
k. 妻にとって、自分の仕事を持つよりも夫の仕事の手助けをする方が大切	1	2	3	4
l. 母親が働くと、小学校へあがる前の子どもに良くない影響を与える	1	2	3	4

問 16 あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどれですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



問 17 あなたは何歳くらいのときに結婚したいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。1を選んだ場合は、希望する結婚年齢を記入してください。

1. <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 歳くらい	→ 問19へ
2. 何歳でもよい	

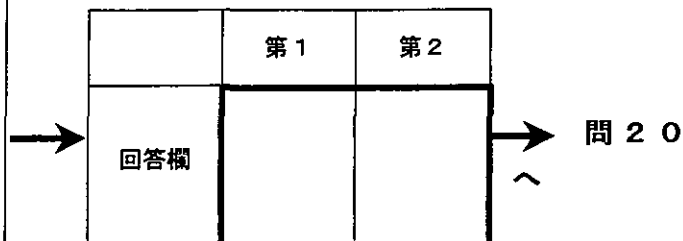
問 18 問 16 で「3. このまま独身でいたい」に○をつけた方におたずねします。

その理由について、あてはまる番号を2つまで選び、重要な順に回答欄に記入してください。

なお、「7. その他」を選ぶ場合は、具体的な内容をカッコ内に記入してください。

【右の回答欄に番号を記入】

1. 仕事に専念したいから
2. 独身の自由や気楽さを失いたくないから
3. 結婚するの必要を感じないから
4. 経済的に負担が大きくなるから
5. 異性と付き合いたくないから
6. パートナーを固定したくないから
7. その他 ()



問 19 あなたは、配偶者と自分の収入を合わせて、手取りで月収がどのくらいあれば結婚してもよいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 20万円未満	4. 40～50万円未満	7. 70万円以上
2. 20～30万円未満	5. 50～60万円未満	8. わからない
3. 30～40万円未満	6. 60～70万円未満	

問 20 あなたは将来、子どもを何人持ちたいですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。5人以上の場合は人数を記入してください。

0. 0人	3. 3人
1. 1人	4. 4人
2. 2人	5. 5人以上 (具体的に____人)

問 21 あなたの兄弟姉妹数をカッコ内に記入してください。いないときは0を記入してください。

兄 () 人	姉 () 人	弟 () 人	妹 () 人
---------	---------	---------	---------

問 22 あなたはこれまでに結婚をしたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 結婚したことはない
2. 離別した
3. 死別した

問 23 下欄に女性の生き方のタイプがいくつか示してあります。

【女性の方へ】

- (1) あなたの理想とする人生はどのタイプですか。
- (2) 理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。

【男性の方へ】

- (1) 配偶者となる女性には、あなたの理想としてどのようなタイプの人生を送って欲しいと思いますか。
- (2) 配偶者となる女性の人生は、実際にはどのタイプになると思いますか。

それぞれ、あてはまる番号を下の選択肢の中から選び、回答欄に記入してください。
なお、「7. その他」を選ぶ場合は、具体的な内容を記入してください。

【下の回答欄に番号を記入】

- 1. 結婚・出産で仕事を辞めず、フルタイムの仕事を続ける
- 2. 結婚・出産で仕事を辞めず、パートタイムの仕事を続ける
- 3. 結婚あるいは出産を機にいったん退職し、適当な時期にフルタイムの仕事につく
- 4. 結婚あるいは出産を機にいったん退職し、適当な時期にパートタイムの仕事につく
- 5. 結婚あるいは出産を機に退職し、その後は仕事につかない
- 6. 結婚・出産をせず、仕事を続ける
- 7. その他 (具体的に: _____)

回 答 欄	
(1)理想とする人生のタイプ	
(2)実際になりそうな人生のタイプ	

問 24 あなたは、**将来自分が結婚できる**と思いますか。あなたの考えに近い番号に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
←		思わない										思う →				

問 25 あなたは現在、どの程度**自立した生活**を送っていると思いますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
←		自立していない										自立している →				

問 26 あなたは、次の a～e の家事について、どのくらいしていますか。太枠内のあてはまる番号に、それぞれ1つずつ○をつけてください。

家事の種類	1	2	3	4	5
	すべてする	たいていする	半分程度する	ときどきする	ほとんどしない
a. 家の掃除	1	2	3	4	5
b. 洗濯	1	2	3	4	5
c. 夕食の用意	1	2	3	4	5
d. 買い物 (日用品や食料品の買物)	1	2	3	4	5
e. 親などの介護 (要介護者がいる方のみ記入)	1	2	3	4	5

問 27 親との別居経験についておたずねします。あなたは、(1)一年以上親と別居して生活したことがありますか。ある場合、初めて親元を離れた時の年月と、(2)主な別居理由、および(3)親元を離れる前に住んでいた地域についてもお答えください。

(1) 別居経験の有無	(2) 別居理由 ※主なもの1つに○	(3) 別居前居住地
1. ある → [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年_____月に別居 2. ない	1. 進学 2. 就職 3. 転勤・転職 4. 結婚 5. 親からの自立 6. その他()	1. 農村、山村、漁村 2. 地方小都市 3. 県庁所在地、それと同等以上の大都市

問 28 あなたと同居している方の有無についておたずねします。あなたは、(1)どなたかと同居していますか。同居者がいる場合は、(2)同居者の内訳について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。兄弟姉妹、友人、その他に該当する方がいる場合は、()内に人数も記入してください。

(1) 同居者の有無	(2) 同居者の内訳
1. 同居者がいる → 2. 同居者はいない	1. 父親 2. 母親 3. 祖父 4. 祖母 5. 兄弟姉妹 → () 人 6. 友人 → () 人 7. 恋人 8. その他 → () 人

父親または母親と別居している方	→	問 29	へお進みください。
父親または母親と同居している方	→	問 30	へお進みください。

問 29 親と別居している方におたずねします。住居費(持ち家の場合は購入資金またはローン、賃貸の場合は家賃など)について、親からの援助をどのくらい受けていますか(受けましたか)。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1. すべて援助を受けている(受けた)
- 2. 大部分援助を受けている(受けた)
- 3. 一部援助を受けている(受けた)
- 4. まったく援助を受けていない(受けなかった)

→ 問34へ

問 30 親と同居している方におたずねします。あなたが親と同居している理由は、なんですか。あなたの考えについてあてはまる番号を2つまで選び、重要な順に回答欄に記入してください。なお、「6. その他」を選ぶ場合は、カッコ内に具体的な内容を記入してください。

- 【右の回答欄に番号を記入】
- 1. ひとりでは経済的にやっていけないから
 - 2. 今の生活で特に不自由がないから
 - 3. 同居家族を介護する必要があるから
 - 4. 家計を支えているから
 - 5. 家を離れることに親が反対するから
 - 6. その他(具体的に: _____)

	第1	第2
回答欄		

問 31 あなたは、(1)親元を離れて生活したいと考えていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。1もしくは2と回答した方は、(2)親元を離れて生活したい理由についても、あなたの考えに最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

- (1)別居の意思
- 1. 今すぐ離れたいと考えている
 - 2. いずれ離れたいと考えている
 - 3. 今は考えていないが、以前考えたことがある
 - 4. 離れたいとは考えたことはない

- (2)別居したい理由
- 1. 一緒に暮らしたい人がいるから
 - 2. 親や家族と一緒に暮らすのが嫌だから
 - 3. 自立した生活を経験してみたいから
 - 4. 自宅からでは通勤や通学が困難だから
 - 5. その他(_____)

問 32 あなたは親との同居に満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 1. かなり満足している
- 2. やや満足している
- 3. やや不満
- 4. かなり不満

問 33 あなたは、親の家計に毎月いくら繰り入れていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 3万円未満	5. 10～15万円未満
2. 3～5万円未満	6. 15～20万円未満
3. 5～7万円未満	7. 20万円以上
4. 7～10万円未満	8. なし

ここからは再び全員の方におたずねします。

問 34 あなたの家族に対するお考えについておたずねします。下の a～j のそれぞれについて、太枠内のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

家族に対する考え ※すでに父親や母親がなくなっている場合には、覚えている範囲でご回答ください。	1	2	3	4
	そ う 思 う	そ う 思 う ど ち ら か と い え ば	そ う は 思 わ な い ど ち ら か と い え ば	そ う は 思 わ な い
a. 結婚後は自分の親と同居したい	1	2	3	4
b. 最後に頼れるのはやはり家族だ	1	2	3	4
c. あなたの親はあなたが金銭的に困難なときに援助してくれる	1	2	3	4
d. あなたとあなたの親は対等な関係である	1	2	3	4
e. あなたの父親はあなたが困ったときに相談できる	1	2	3	4
f. あなたの母親はあなたが困ったときに相談できる	1	2	3	4
g. あなたの父親はあなたの友人や恋人のことをよく知っている	1	2	3	4
h. あなたの母親はあなたの友人や恋人のことをよく知っている	1	2	3	4
i. あなたの父親はあなたのことをよく理解している	1	2	3	4
j. あなたの母親はあなたのことをよく理解している	1	2	3	4

問 35 あなたが受けた親からの金銭的援助（小遣い、仕送り、贈与、貸金など）は、この一年間に毎月平均しておよそどのくらいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。
 なお、学費は除いてお答えください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 3万円未満 | 5. 10～15万円未満 |
| 2. 3～5万円未満 | 6. 15～20万円未満 |
| 3. 5～7万円未満 | 7. 20万円以上 |
| 4. 7～10万円未満 | 8. なし |

問 36 あなたが、(1)最後に通学した（または現在通学している）学校と、(2)その卒業・在学の別についておたずねします。それぞれ、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。さらに、すでに卒業されている方は、(3)卒業年月について数字を記入してください。

(1)最後に通学した（または現在通学している）学校	(2)卒業・在学の別	(3)卒業年月
1. 中学校 2. 高校 3. 専修学校（高卒後） 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他（ ）	1. すでに卒業 2. 現在在学中（休学含む）	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年

問 37 あなたが今までに通学したすべての学校について、その学校が公立・私立・国立のいずれだったか、太枠内のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

学校の種類	1	2	3
	公 立	私 立	国 立
a. 保 育 園	1	2	3
b. 幼 稚 園	1	2	3
c. 小 学 校	1	2	3
d. 中 学 校	1	2	3
e. 高 校	1	2	3
f. 専修学校（高卒後）	1	2	3
g. 短大・高専	1	2	3
h. 大 学	1	2	3
i. 大 学 院	1	2	3
j. そ の 他	1	2	3

問 38 現在のお住まいは次のどれにあたりますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
持ち家の場合は、所有者の名義について、あてはまる方すべてに○をしてください。

(1) 住居の種類	(2) 持ち家の所有者
1. 持ち家（一戸建て）	1. あなた 2. 親 3. その他
2. 持ち家（マンションなど）	
3. 賃貸（一戸建て）	
4. 賃貸（アパート・マンションなど）	
5. 社宅・公務員宿舎など	
6. その他（ ）	

問 39 昨年のあなたの収入についておたずねします。税込み年収（ボーナスや副収入を含み、税金、社会保険料その他が引かれる前の支給総額）について、あてはまる番号を1つだけ選び、回答欄に記入してください。なお、「14. その他」にあてはまる場合には、具体的な金額を記入してください。

1. なし	9. 450～550 万円未満
2. 1～50 万円未満	10. 550～650 万円未満
3. 50～100 万円未満	11. 650～750 万円未満
4. 100～130 万円未満	12. 750～850 万円未満
5. 130～150 万円未満	13. 850～1000 万円未満
6. 150～250 万円未満	14. 1000 万円以上
7. 250～350 万円未満	↳ 約 _____ 万円
8. 350～450 万円未満	

ここからは「品川区」についておたずねします。

問 40 あなたは、品川区にどのくらい居住していますか。あてはまる数字を記入してください。

1年以上お住まいの方→	() 年くらい
1年未満の方 →	() ヶ月くらい

問 41 あなたが品川区に住み始めた理由はなんですか。あてはまるものを最大3つまで選んで○をつけてください。

- 1. 土地になじみや愛着があるから
- 2. 仕事(商売)や通学に都合が良いから
- 3. 周囲の環境が良いから
- 4. 親が近くに住んでいるから (または同居しているから)
- 5. 寮などの関係で自動的に決定したから
- 6. 交通の便が良いから
- 7. 住居の購入費・家賃が手ごろだったから
- 8. 買物、レジャーに便利だから
- 9. 友人・同僚などが近所に住んでいるから
- 10. 図書館・スポーツ施設など文化施設が充実しているから
- 11. その他 ()

問 42 品川区に住んでみて、あなたはどのくらい満足していますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
← 不満										満足 →						

◆この調査の内容に関連してご意見・ご要望がありましたら、何でもご記入ください。

調査票の記入は以上で終わりです。長時間にわたりご協力ありがとうございました。
誠に勝手ながら、ご返送は平成14年12月20日までにお願いいたします。

厚生労働科学研究費補助金
政策科学推進研究事業
品川区「少子化に関する区民調査」
結果報告書

少子化研究会編

100-0011 千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル6階

国立社会保障・人口問題研究所 守泉理恵（編集担当）

発行 2003年3月

20030051 (2/分冊)

厚生労働科学研究費補助金(政策科学推進研究事業)

(課題番号 H14 -政策- 029)

少子化の新局面と家族・労働政策の対応に関する研究

「少子化に関する自治体調査」第2分冊

栄町「少子化に関する町民調査」 結果報告書

少子化研究会企画・分析
栄町・少子化研究会共同実施

厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業

「少子化の新局面と家族・労働政策の対応に関する研究」

少子化の見通しに関する一般調査プロジェクト

栄町「少子化に関する町民調査」 結果報告書

少子化研究会企画・分析
栄町・少子化研究会共同実施

厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業
「少子化の新局面と家族・労働政策の対応に関する研究」
少子化の見通しに関する一般調査プロジェクト

【目次】

- I. 調査の概要 (2)
- II. 結果のポイント：夫婦票 (4)
 - 1. 属性 (4)
 - 2. 結婚・出産と女性の就業 (6)
 - 3. 暮らしぶり (9)
 - 4. 既婚者の居住形態と保育資源 (11)
 - 5. 家庭生活 (14)
 - 6. 価値観 (17)
 - 7. 子ども (19)
 - 8. 教育 (21)
 - 9. 保育・育児支援サービスニーズ (23)
 - 10. 栄町 (26)
- III. 結果のポイント：独身者票 (27)
 - 1. 属性 (27)
 - 2. 結婚・出産と女性の就業－独身者の理想と予定のライフコース (29)
 - 3. 暮らしぶり (31)
 - 4. 交際している異性の存在とパートナー探し (33)
 - 5. 結婚に対する考え方 (35)
 - 6. 子ども (39)
 - 7. 居住形態と意識 (41)
 - 8. 価値観 (43)
 - 9. 栄町 (46)
- IV. 自由回答一覧 (47)
- V. 調査資料 (52)
 - 1－1. 夫婦票単純集計結果 (53)
 - 1－2. 独身者票単純集計結果 (90)
 - 2－1. 調査票 (夫婦票) (113)
 - 2－2. 調査票 (独身者票) (129)

I. 調査の概要

1. 調査目的

1970年代半ばから続く日本の少子化現象については、女性の社会進出等の要因による若年層の晩婚化・未婚化・非婚化が主因であるとみられてきた。しかし、これに加えて、平成14年1月に公表された新将来人口推計では「夫婦の出生力低下」という新たな局面が明らかになった。よって、若年層の晩婚化・未婚化と、結婚した夫婦の出生力低下という2つの面から少子化について実態を明らかにする必要があるが出てきている。

本調査は、こうした現状をふまえて企画されたものである。国民の少子化をめぐる意識や政策ニーズを把握するため、市区町村自治体と連携して調査を実施し、夫婦出生力、独身者の結婚意識に影響を及ぼす要因を把握するとともに、自治体レベルにおける対応の在り方を検討する。それによって地域における有効な少子化対策を検討し、政策提言する。

2. 調査実施概要

「少子化に関する町民調査」は、栄町在住の年齢20～49歳の妻、及び年齢20～49歳の男女独身者を対象とした標本調査で、以下の要領で実施された。

(1) 調査票の種類

夫婦票(妻が記入)、独身者票

(2) 調査方法

郵送法

(3) サンプルング方法、情報管理

住民基本台帳データより、栄町が系統抽出法を用いてサンプル抽出した。抽出サンプルの個人情報(住所、氏名)はラベルのみに打ち出し、郵送した。栄町および少子化研究会にはサンプルングされた個人の情報は一切残らず、個人の特定も不可能である。

(4) 調査の時期

2003年2月25日(火)～3月17日(月)

(5) 調査票の回収状況

	夫婦票	独身者票
調査客体数	498人	498人
回収票数	221票 (回収率 44.4%)	123票 (回収率 24.7%)
有効票数	221票 (有効回収率 44.4%)	123票 (有効回収率 24.7%)

3. 調査実施メンバー

少子化研究会（分担研究者以降 50 音順）

高 橋 重 郷（主任研究者：国立社会保障・人口問題研究所部長）
大 淵 寛（分担研究者：中央大学経済学部教授）
安 藏 伸 治（明治大学政治経済学部教授）
岩 澤 美 帆（国立社会保障・人口問題研究所研究員）
加 藤 久 和（国立社会保障・人口問題研究所室長）
兼 清 弘 之（明治大学政治経済学部教授）
金 子 隆 一（国立社会保障・人口問題研究所室長）
坂 井 博 通（埼玉県立大学福祉医療学部助教授）
新 谷 由里子（武蔵野女子大学非常勤講師）
辻 明 子（早稲田大学人間科学部助手）
守 泉 理 恵（国立社会保障・人口問題研究所客員研究員）
吉 田 良 生（朝日大学経営学部教授）
和 田 光 平（中央大学経済学部助教授）
福 田 節 也（明治大学大学院）
鎌 田 健 司（明治大学大学院）

千葉県印旛郡栄町

栄町 健康福祉推進室子育て支援グループ

※ この調査は、厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「少子化の新局面と家族・労働政策の対応に関する研究」の一環として、厚生労働省の研究助成を受けて栄町と共同実施した。